

## 地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 7 月 11 日
事業所名	グループホームとまり木守山
ユニット名	とまり木 1F
事業所番号	2371301124
記入者名	職名 管理者 氏名 安達 久美子
連絡先電話番号	052-797-8108

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>・理念は「最善の介護サービスを最高の誠意と人間愛を持って」その他・・・主役は利用者様であるのと、地球社会との関わりの意義を組み入れた理念となっている。理念に基づき、支援方針も立てている。法人としての理念は別に掲げている。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>・理念は玄関、各リビングに掲示し、全職員名札の裏に理念を入れて日々確認し、意識するようにしている。ミーティング等でも、利用者様にとって最善の介護、方向性について考え、具体的なケアの統一を図っている。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		<p>・運営推進会議を通して地域の方に理解を求めている。ご家族様には、お話をする際に、理念を織り交ぜてお話しすることで理解をしていただいている。</p> <p>・リビング、玄関、とまり木掲示板にも掲示している。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>・散歩等の際、挨拶等を積極的にするよう努めている。ホーム内行事に参加して頂けるよう、ご案内(地域内掲示板)をしている。地域の方々に差し入れなど頂いた事もあります。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>・自治会、パトロール、清掃、草刈り、ゴミ当番を地域の方々と共に活動することにより、情報収集や交流を深めている。</p> <p>・地域の小学校が社会見学に来たり、地域の学校の卒業式、バザー等に参加させて頂いている。地域に花などの提供をさせて頂いている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		H19,7月全体ミーティングにて、高齢者虐待防止法についての勉強会をして、理解浸透や遵守に向けた取り組みをする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>ご家族様同士が集まれ、意見交換・交流を深める機会をもっとつくっていき、様々なご意見、ご要望を頂き、向上していきたいです。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・馴染みの職員で対応することが大切であると考え、やむ得ず離職する場合も、新たな職員を配置する時も、影響が出ないようユニットを考えて配置している。利用者様にもきちんと紹介し、研修も極力、担当スタッフを固定し、ダメージを最小限にするよう努めている。		
<b>5.人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・認知症ケアでは、現場で働きながら学ぶことで経験し、理解していく事が大切であると考えている。事業所外講習等での認知症の勉強会を一部の職員しか参加する事が出来ないため、ミーティングなどを活用し、全体で反映できるよう努めている。外部講習は積極的に参加している。		
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・講習会などを利用し、他事業所との意見交換、情報交換、および他ホームの見学をするなどしてサービスの質の向上に努めている。		他ホームへの見学、講習会などをより多く取組んでいきたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・休憩場所をしっかりと寛げるよう、配慮している。 ・ケアに関してのストレスは、ケアミーティング、申し送りなどでの意見交換で軽減している。勤務外で親睦会も行い、環境づくりも大切に、気軽に相談できる環境づくりに取り組んでいる。毎週水曜日の相談室は職員も参加している。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・現場で起きていること、課題、成果をしっかりと把握するよう、努めている。勤務状況を把握することで、健康状態の確認をしている。労働基準法に従って、労働条件を整えている。 ・スキルアップが出来るよう支援をしている。管理者、職員が自分達で考え実行していく事が向上に繋がり働きやすい環境づくりにつながると考えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・事前面談の際に利用者様、ご家族様から不安になるような事や、生活歴、大切にしている事など出来るだけお話して頂き、入所前に理解を深める工夫をしている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・面談の際、心配な事、どのような事を求めているか、お話して頂き、当施設の様子、どのような対応が出来るかをお話するよう努めている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・事例からは、ケースワーカーやケアマネジャーなどからの紹介、相談がほとんどで、グループホームを選択してからのケースが多い。相談時に希望や生活状況をお聞きし、他のサービスで改善できるのであれば提案し、選択して頂くよう対応している。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・面談時になるべく施設に来て頂き、雰囲気を感じて頂いたり、他の利用者様とコミュニケーションをとって頂くことが重要であると考えているので、来所して頂ける利用者様にはお願いしている。入院している方などは、何回か面談に行き、安心して頂けるよう努めている。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・尊敬の気持ちを持ち、利用者様の立場を考え、共に活動することにより、共感し支えあう関係を築いている。感謝する気持ちを忘れないよう努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・ご本人様の状況などを報告し、相談しながら、ご家族様の力もお借りしてケアを進めている。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・関係を継続して頂けるよう、行事などへの参加の呼びかけをして、一緒に楽しんで頂いている。あまり参加して頂けないご家族様も、手紙や電話などで関係を継続して頂き、安心して頂けるようよう努めている。		ご家族様が多忙な方が多く、行事参加等の機会が少ないので、もっと利用者様とご家族様の交流を図る機会をつくっていききたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・相談室や日々の会話などで、昔の思い出話を引き出し、行きたい所へ出かけたり、行きつけの床屋に行ってもらっている。		
31 利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・趣味を一緒にやって頂いたり、気の合う方同士の関係を把握し、自然な形で触れ合うよう、職員で調整している。ラジオ体操、レクなどもユニット合同で行い、交流を深めている。		
32 関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・退所後も、ご面会、お見舞いへ行き、状況をお聞きしたり、お話しに行くなどしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・日々のケアの中で、思いや意向を把握できるよう努力している。コミュニケーションをとることが困難な利用者様は、表情を観察したり、ご家族様と相談することで、最善の介護を検討している。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・面談等でお聞きし、アセスメントを作成し、スタッフ一人ひとりが確認し、把握するよう努めている。</p> <p>・会話などで時に触れお話しして頂けるよう努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・日々生活の様子を記録し、スタッフが確認できるようになっている。変化があればその都度相談し、対応している。</p> <p>・個々の出来る事を各担当者が考え、継続的に共にするよう努めている。</p>	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・利用者様、ご家族様の希望を第一に、各スタッフが計画作成担当者と日々の様子などを意見交換しながら作成している。カンファレンスでそれぞれ話し合い、向上に努めている。実行に向け、日々努力している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・見直し評価を実施し、変化が生じた場合、ご家族様に相談したり、カンファレンスなどで検討して対応している。</p>	



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・対応したケアがカルテに記入し、共有するようにしている。気づきや失敗したことでも記入することにより、次につなげる努力をしている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・状況変化に伴い、通院等必要な場合には柔軟に対応している。</p> <p>・要望に応じて、外出支援など行なっている。</p> <p>・2Fへ行き交流を深めたり、お庭へ行ってお茶をしたりして頂いている。</p>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>・地域の消防署に避難訓練。応急処置を実施して頂いている。社教にボランティアの要請をして、ボランティアの方に協力して頂いている。行事などでボランティアの方のショー等も実施して頂いている。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>			
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>			

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・協力医療機関に毎週往診に来て頂いている。その他で必要になった場合に通院を代行、昔のかかりつけ医で受診したりし支援している。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・状態変化にその都度受診、電話で相談するなどしている。定期的に経過報告をしながら受診している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・訪問看護ステーションとの契約により、週一度の健康チェックと状態変化に対して、相談、助言、必要な場合は処置をしてもらっている。密に連絡を取り合っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・病院関係者に対して、必要な情報提供をして、状態等の確認を相互でしながら、早期退院に協力している。ご家族様とも相互連絡を取り、情報交換をしている。利用者様も顔を見て頂くと安心され、状況把握も出来る為、何回かのお見舞いと洗濯等も支援している。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・当事業所が対応出来る最大の支援内容の、重度化した場合における対応に係る指針を書面にて説明し、同意の考えを頂いている。状態変化があるごとに話し合いをして、意向を大切に、支援に繋げている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・身体状況の急変に伴い、ご家族様に施設が対応可能な事、対応出来ない事をお伝えし、話し合いをしている。その際医師、訪問看護ステーションとの対応が可能か相談している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・やって頂けない時もあるが、やって頂ける時は本人に合わせ出来る事を中心に一緒に準備、片付けをして頂く。うまく出来ていないときもさり気無くカバーしている。好みのメニューを取り入れたり、個別で外食にも出かけている。		声かけなどを工夫していき、一緒にやって頂ける機会を増やしていく。
55 本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・お酒は場面ごとで飲む機会を作っている。その他、欲しいものはスタッフと外出して選んで買って頂けるよう支援している。月に一度、ホームに移動パン屋さんにも来て貰っている。		
56 気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄チェック表を付け、個々の排泄パターンを把握して、声かけ指導を実施している。		
57 入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・往診の為、水曜以外の週6日間入浴を実施して、希望に応じて入浴して頂けるよう支援している。		
58 安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・個々の生活リズムを整えるよう、日中の活動を促したり、居室でお昼寝して頂いたり出来るようしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・個々の趣味や出来る事を見出し、楽しく過ごして頂けるよう、支援している。例えば、食事作り、花の水遣り、掃除など、力が発揮して頂ける事を中心にやって頂いている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・社会性の維持を目的に、外出時など、出来る限り利用者様に支払いをして頂くよう支援している。		
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・天気の良い日は、散歩や、スロープのベンチ、庭のベンチで過ごす、花の水遣り、買い物などにも出掛けて頂いている。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・バス旅行にて行ってみたい所へ外出をしている。個々の思い出の場所なども、個別で外出支援を実施している。利用者様から希望などを聞いたりとご家族様にも呼びかけをしている。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話、手紙など申し出がある時は、すぐに対応している。手紙はポストまで散歩するなどして投函しに行っている。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面会はいつでも来訪して頂けるようにしている。笑顔で挨拶し、必要に応じて、居室、リビングなどでゆっくり過ごして頂いている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・ミーティングで身体拘束を正しく勉強している。歩行不安定な利用者様も、柵など使用せず、ナースコール、鈴などでスタッフが気付き介護するようにしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・普段はスタッフ一人ひとりが見守りの強い意識を持ち、取り組んでいる為、鍵は全くかけていない。外出したような利用者様がいた場合、スタッフが連いて行き、少し歩くなどして、自由な暮らしを支えている。		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・個々のリスクを把握し、スタッフ一人ひとりが利用者様が行動に移る際に、見守りし、様子などを把握している。夜間はユニットごとに1名ずつ配置しているが、2時間毎に巡視、居室が見通せる場所で休憩をとり、把握する様にしている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・利用者様に保管できる物は保管して頂き、リスクがあるものは、預かるようにしている。使用する際は、見守りながら使用して頂く。夜間帯は刃物等危険物は事務所にて保管している。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・個々の予測出来るリスクはケアプランにて確認、見守り、介助を行なっている。万が一事故が発生した場合も、報告書を作成し、原因、予防策を検討し、周知徹底し、ご家族様にも報告している。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・ホームにはマニュアルが完備されている。消防署による応急手当の講習も2回実施して頂いた。避難訓練でも応急手当など実施し確認している。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・2ヶ月に1回、意識強化と全職員訓練を努めていく目的で、避難訓練を実施している。当ホームが地域の避難場所になるか、検討中。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・可能性のある感染症のマニュアルを完備し、予防に向け取り組みを実施している。情報収集を積極的に行い、感染症予防、対応に努めている。		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・衛生に関して、取り決め(まな板ハイター消毒、食器乾燥機の使用など)を行なっている。食材の状態も仕入れの際に確認している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・入り口の前にベンチ、花、手作り掲示板を設置している。階段の脇に花を置き明るい雰囲気をつくり、スロープの途中、脇にもベンチ、花を置いている。玄関周りにも沢山の花を設置、季節を感じて頂けるようにしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・心地良い音楽を流す、簾などで強い日差しを遮るなどしている。利用者様にとって、生活しやすい環境を整える為、食卓・ソファ等配置変えなどを実施している。季節感を感じられる作品などを飾付けしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファを様々な場所に設置、配置変えをするなどして工夫している。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・馴染みの家具、写真、思い出の品を多用し、利 用者様本人の好みの居室となるよう配慮してい る。		
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・常温とあまり差が出ないように配慮し、その日の 気温に応じて調整している。換気も朝、夕を基本 に適度実施している。居室も換気、エアコンな どを利用し、利用者様に合わせ調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・必要だと思われる場所に手すりを設置、浴室も すべり止めマット、椅子など必要に応じて設置、 使用している。 ・見守り、必要な介助を中心に自立に向けて取り 組んでいる。		
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・各部屋に名札などを設置している。混乱が発生 する利用者様は、大きい名札を使用したり工夫を している。その都度、検討し対応している。		
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・中庭のベンチなどで休憩、コーヒータイムを楽し んで頂くことや、畑、花いじりなどで活動して 頂いている。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

個別ケアの強化、排泄パターンの把握による声かけ誘導に力を入れている。